

令和6年度 今治市自立支援協議会 発達支援部会（第4回）議事録	
日 時	令和7年2月6日（木） 15：30～17：00
場 所	今治市総合福祉センター 4F 多目的ホール2
出席者	（計20名）
内 容	1 次年度の計画について 別紙「令和7年度、発達支援部会年間計画(案)」について説明 2 サポートブックの活用について ・子どもたちの進級時、退学時に相談が増えている。 ・児童クラブの支援員さんはサポートブックのことをほとんど知らなかった。 ・パソコンでダウンロードできる。 ・2月中旬くらいに改めて、市内の小中学校に原本を持って行く。 ・3月末、コーディネーターに配布予定。 ・サポートブックをいろいろな研修で周知してもらって広がっていけばと思っている。 ・将来、年金を受け取る時、小学校、中学校でこういうことがあったと記入しなければいけない。 ・年金申請にあたり当事者も過去のことが分からない。また親も亡くなって不在のケースもあることから、申請に苦勞することがある。 ＜グループ協議＞（※協議内容の詳細は別紙参照） ① 「サポートブックについて保護者が「もっと活用しよう。」と思ってもらえるためには、どのようにすればいいか？ ア 各グループでの協議 イ 全体会でのグループ発表 ・ひよこ園では就学時に渡している。 ・サポートブックのメリットをわかっていただいて使っていただきたい。 ・家庭で親が中心となって記録したり記述したりすることが多い。 （1G） ・発達支援センターが就学時に持っていくように勧める。 ・受給者証を受ける時にサポートブックを勧める。 （2G） ・サポートブックは広告が多く、たくさんの項目があり大変なので、コンパクトにしたものにしたらよい。 ・今治市のものとして共有のものを作る。 ・保健センターの検診時、全員に配る。 （3G）

- ・コンパクトに書くものと、詳しく書くものの選択ができるようにする。
- ・学校、家庭で共有するものを作る。
- ・何ページもあり、熱心な保護者のみサポートブックを持っている。

(4G)

② サポートブックの周知についてどのようにすれば保護者の手に取ってもらえるのか。

ア 各グループでの協議

イ 全体会でのグループ発表

- ・今治市が決める。
- ・例を出して書けるようにする。
- ・二次障害を防ぐために、本人が自分のことが理解できる。

(1G)

- ・使うことのメリット、よかったことを伝える。

(2G)

- ・ツールが共通のものがあれば、使ってもらえる。
- ・サポートブックの書いて楽しいものであればいい。

(3G)

- ・障がいのあるなしに関わらず、サポートシートを配布する。

(4G)

3. その他

○次回

今治市地域自立支援協議会（全体会）

3月3日（月）15：30～16：30

今治市総合福祉センター 4階多目的ホール